



## 項目

- 活動情報  
-10月のコメント-
- 「アクション油ヶ淵 in 安城」が開催されました
- 水源地をめぐる旅（あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業）に参加しました
- 高浜市で取材しました  
-清水町町内会-

夏のあいだ河川敷等に生い茂り幅をきかせていた雑草が、皆さんの水質調査をさまたげていたけれど、秋の訪れとともに枯れ草となり水辺の風景を変化させています。

先日、アクション油ヶ淵 in 安城でも紹介された「葦船学校」に参加し、油ヶ淵湖岸を散歩していたら釣り人発見！コイとフナが釣れたそう。

(多賀)

コイとフナ



## 活動情報

### ●10月のコメント

- ・透き通っていて、前例にないきれいさだった。ゴム手袋や空き缶が沈んでいた。(下池北岸・流入都下)
- ・水の量は多い。タニシの卵がひらひらしている。水が濁っている。(稗田川・クリーンセンター横・農排)
- ・水深25cm。昨夜の雨で綺麗な流れ。ザリガニが見える。(稗田川(準)鮫川・下流)
- ・水路堤防・雑草とゴミ捨て場となっている。10月16日草刈り・回収処理した長田川・長田橋上流左岸・流入都下
- ・長田川本流でボラの子を確認。ウナギ捕獲用筒がセットであった。(長田川・榎前橋下流右岸・都下)
- ・きれいな水、水位10cm、水藻一杯、カワニナ一杯。(長田川(準)道田川・上流)



## 「アクション油ヶ淵 in 安城」が開催されました

11月6日(金)安城市文化センターで「アクション油ヶ淵 in 安城」が盛大に開催されました。



まず、主催者を代表して愛知県稲垣副知事と地元の安城市神谷市長から挨拶。その後、来賓を代表して安城市選出の大見県

議、安城市議会の神谷議長からお祝いのことばで花を添えていただきました。続いて、安城市立丈山小学校の6年生の皆さん98名による水質浄化の取組の発表。「半場川を身近に」とのテーマのもと、一人ひとりがマイクの前に立って、日頃の活動から感じたことを一生懸命に語りかけました。フィナーレは一齐に舞台壇上に整列しての合唱。きびきびとした動きと一糸乱れぬハーモニーには、真剣に郷土の川を愛する気持ちと亡き榊原しげ子さんへの思いがあふれています。

その後は、油ヶ淵美化ネットの山中

功博さん。葦船学校等の活動の成果を「私たちの『アクション油ヶ淵』」と題して報告。榊原さんの遺志を継ぎ、さらに油ヶ淵の水質浄化に取り組んでいくとの決意を新たにされていました。

最後は、落語家笑福亭学光さんの環境寄席「自分のためには地球のため：笑いは水を育む」。日頃のボランティア経験に裏付けられた「何事もいっぺんにはできません。小さなことからみんながコツコツやっていくことが大切ではないでしょうか」との問いかけには、皆さんうなずいていました。南京玉すだれでは、舞台上引っ張り出された県職員Mさんのきこえない手つきとそれに絡む師匠の絶妙なトークで笑いの渦でした。

最近、きれいさを徐々に取り戻しつつある油ヶ淵。この日の熱気をそのまま明日から生かして、かつての清流を取り戻すまでコツコツとがんばりましょう。(川村)





## 水源地をめぐる旅(あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業)に参加しました

愛知県では、今年度から「あいち森と緑づくり税」が導入されました。県内在住の方一人につき500円を県民税と一緒に納めていただき、森林や里山、都市の緑の保全、市町村、市民団体による環境活動、環境学習の支援などに活用させていただきます。

この税の支援を受けて豊橋市が開催した「水源地をめぐる旅」に、9月の連休を利用して参加してきました。

豊川の水源地、奥三河を訪ねる一日の小旅行で、参加者39名(市役所職員2名を除く)は、小学生のお子さんとその父母の方などです。小型バス2台で朝9時に市役所前を出発しました。

最初の目的地は、設楽町にある奥三河総合センター。ここでは、ダム対策室長の片桐さんに、町の概況とダムの計画についてお話をうかがいました。その後、昼食をはさんで、設楽ダムの建設予定地を見学しました。

設楽ダムについては、長い時間をかけ様々な議論が続けられてきましたが、今年2月に地元と県・国とで「建設同

意に関する協定書」が調印されています。治水、利水、河川環境の保全を目的とするこの事業については、建設地の上流域だけでなくダムの水を利用する下流域も含め、流域全体で考えていくことが大切だと思います。

次に、新城市(旧鳳来町)へ移動し、平成13年に完成した大島ダムを訪問しました。水資源管理機構の伊藤さんの説明で、このダムが、隣りの宇連ダム(昭和33年完成)とともに東三河地域や静岡県の一部に豊川用水の水を供給し、社会経済の発展に寄与している姿を知りました。ダムの中も見学しました。入口前の小高い崖の上に、珍しいことにカモシカが一頭、私たち一行を出迎えてくれました。(犬塚)



## 高浜市で取材しました



夏の日差しが厳しい、土曜日の午前中に、清水町内会の鈴木さん、藤本さんが行っている市民モニタリングを取材しました。活動拠点は、清水町集会所です。モニタリング調査地点は、鮫川の下流の稗田川との合流地点付近と中根橋下です。この付近は、住宅地と田畑の広がるのかな地域で、生活排水とともに田からの排水が混ざっています。

この水質調査活動は、もともと、鮫川で子ども達が遊べる環境をつくるという声から、有志により調査がはじまったものです。調査を始めたころの、稗田川、鮫川は、相当汚れていたそうです。

永く調査を行っている鈴木さんたちは、かねてから、河川の浄化や、自然な川づくりのための活動を進めています。

鮫川は、川といっても、コンクリートで整備された川ですが、魚のいる川へ変身させようと、土管などをいれて、水の流れをつくり、子ども達が遊べる川にしようとして活動しています。

水質の浄化のためには、下流の地域で

努力しても、上流地域の協力がなければ、なかなかよくなるというのが実情です。また、かつては、パイプラインがなく、農業水の放流で、一定の水量もありましたが、現在、小川程度の水量では、水質改善がされないということがあります。鈴木さんたちは、地域はもとより、県も含めて協働していきたいと語っていました。

(高浜市役所市民生活G 米村) 写真 中根橋から調査しています。



藤本さん

鈴木さん

## 油ヶ淵流域市民モニタリング ぶちもに情報局 vol. 27

平成21年11月発行

発行

愛知県環境部水地盤環境課

調整・生活排水グループ

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1-2

電話

052-954-6219(タ イヤリン)

Mail:mizu@pref.aichi.lg.jp